

AUDIO BASIC

2007 AUTUMN vol. 44
オーディオ・ベーシック
定価 1,300円

CD特別付録

バイオリンと
オルガンのための
隠れた名曲

Music for Violin and Organ

新・名機物語
バイオニア
S-3EXの魅力

この高音質ソースを
見逃すな!

オーディオラックで
グッドラック!

iPodからはじめる
オーディオライフ

フォーカル
[JMラボ]が
日本再上陸!

ハイクラススピーカー12機種を
**本気で
鳴らしこむ**



10万円以下
コンポは
ここまで楽しめる!

特に自作派に
とっては?

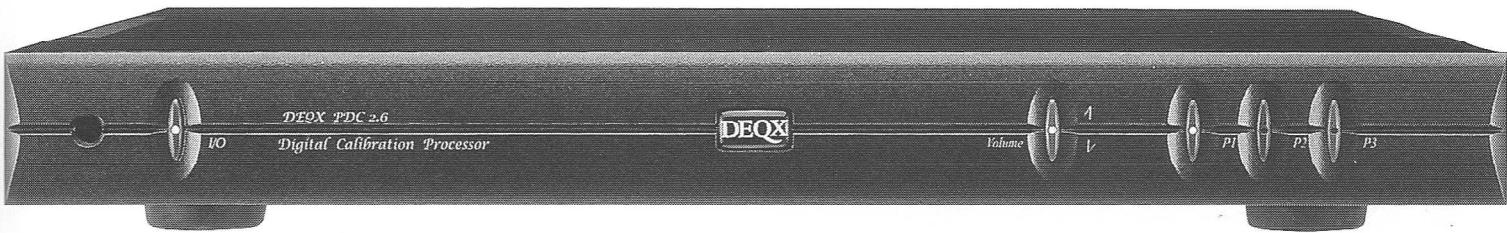
緊急
リポート

文・三浦孝仁

夢のような超多機能機器

DEQX

PDC-2.6とは?



DEQX
PDC-2.6
¥498,000

価格はベーシックモデル(プリ機能&マイク無し)。プリ機能&マイク付きのPDC-2.6Pは定価￥598,000だが、いずれも直販価格など、詳しくはKuri'zz一楽房(クリーズ・ラボ)のホームページをご参照いただきたい。<http://www.kurizz-labo.com/index.htm> ☎0267-15-6166
DEQXのPDC2.6カタログ◎<http://www.fairlight.co.jp/goods/pdf/DEQXbrochure.pdf>

高度なプロフェッショナルの間では以前から知られていた製品で、スピーカーシステムの特性を最適化しながらかつ部屋全体の影響を把握してスピーカーの音を理想的な状態に補正する夢のようなオーディオ機器がある。その名前はDEQX(開発メーカーは「デックス」と発音)。その技術開発と製造を行なうのは、南半球オーストラリアのシドニーに本拠地を置くDEQX・pty社。私自身はDEQXを数年前から米国ラスベガスで開催されるCES(コンシュマーレクリエイティブ・エクスポニクスショウ)で詳しく見聞して知っているのだが、これまでオーディオ・ベーシック誌で紹介することは考えていなかつた。高価な機器であるし、ウインドウズPCを使用する各機能の設定などが複雑で、一般的なオーディオファイルには不向きの製品だと考えていたからだ。

しかし、本誌の金城編集長は、このDEQXが高度なオーディオ的用途だけでなく、自作スピーカーシステムに対して強力な支援ツールになることを知つて興味津々である。そこで、拙稿でDEQXがもたらす驚異的な機能を紹介し、その可能性を理解していただくことにしよう。

DEQX・pty社は、1990年代中頃に設立された。その主宰者キム・ライリー氏は、70年代後半にキーボードの歴史を塗り替えたボリューミック・ライリー氏は、70年代後半にキーボード「フェアライト・CM」の設立者の一人である。フェアライトの開発過程でデジタルオーディオの可能性と、デジタル処理を行うDSP(デジタル・シグナル・プロセッシング)の無限の可能性に着目して、従来のスピーカーシステムが解消できていた位相補正や周波数特性のスマート化、そしてスピーカーをセッティングする部屋全体の問題点を、DSP+専用開発のソフト

スピーカーと 部屋の問題点を DSPで解決



DEQX・pty社の主宰者キム・ライリー(Kim Ryrie)氏。彼は鍵盤楽器、とりわけシンセサイザーの分野では有名な人物で、70年代後半にキーボードの歴史を塗り替えたボリューミック・デジタルサンプリング・キーボード「フェアライト・CM」の設立者の一人である。フェアライトは音源をデジタルサンプリングして再生できる、恐ろしいほど画期的な世界初の楽器として注目された。その後フェアライトはDAW(デジタル・オーディオ・ワークステーション)の分野に進出して現在も業界のトップランナーである。